

貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>1,326,338</b>	<b>流動負債</b>	<b>248,277</b>
現金及び預金	1,016,484	オークション借勘定	133,978
オークション貸勘定	189,688	未払金	84,036
売掛金	359	未払費用	3,955
商品	40	賞与引当金	23,262
貯蔵品	86	その他	3,045
未収入金	103,386		
前払費用	16,292	<b>固定負債</b>	<b>117,047</b>
その他	0	預り保証金	91,900
		長期預り金	10,509
<b>固定資産</b>	<b>408,166</b>	退職給付引当金	5,778
<b>有形固定資産</b>	<b>23,773</b>	資産除去債務	8,859
建物	18,576		
構築物	3,678	<b>負債合計</b>	<b>365,324</b>
車両運搬具	913		
器具及び備品	604	<b>(純資産の部)</b>	
		<b>株主資本</b>	<b>1,369,180</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>34,961</b>	<b>資本金</b>	<b>212,800</b>
ソフトウェア	34,961	<b>資本剰余金</b>	<b>202,800</b>
		資本準備金	202,800
<b>投資その他の資産</b>	<b>349,431</b>	<b>利益剰余金</b>	<b>953,580</b>
関係会社株式	263,893	その他利益剰余金	953,580
差入保証金	19,130	繰越利益剰余金	953,580
建設協力金	7,178	(当期純利益)	(206,717)
繰延税金資産	57,001		
長期貸付金	1,000	<b>純資産合計</b>	<b>1,369,180</b>
その他	1,227		
<b>資産合計</b>	<b>1,734,504</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>1,734,504</b>

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品

個別法に基づく原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）

貯蔵品

最終仕入原価法に基づく原価法

### (2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定率法

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物付属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物付属設備及び構築物については、定額法によっております。

無形固定資産

定額法

ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。

### (3) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、以下の方法により計上しております。

・一般債権

貸倒実績率法

・貸倒懸念債権および

破産更生債権等

財務内容評価法

賞与引当金

従業員の賞与の支払に備えるため、支給見込額を期間に応じて計上しております。

退職給付引当金

従業員の退職金の支払いに備えるため、当事業年度末に在籍する従業員の当事業年度末時点における自己都合退職金要支給額を計上しております。

### (4) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の処理方法

税抜方式を採用しております。

## 2. その他の注記

記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。